

安全・安心な住環境で快適に

共に生きる
WITH LIFE

—ノーマライゼーションを推進する広報誌—

第62号
2025
ウィズライフ



|特集 ノーマライゼーション対談|

畠中 秀幸さん×伊藤 千織さん

人々が集う心地よい空間づくり

|土屋ホームトピア バリアフリーショールーム|

「暮らしの元気スタジオ」がオープン



公益財団法人として

ウィズ ライフ

「WITH LIFE ~共に生きる~」

を実践しています。



私たちの「願い」

私たちは、公益に資する法人として
「高齢者も障がいのある人も社会で共に暮らし、共に生きることがノーマルである」
というノーマライゼーションの理念に基づき、
高齢者や障がい者が安全で安心して快適に暮らせる
住生活の整備・向上を通して、
すべての人が生きがいをもって生活できる社会づくりと、
社会福祉の増進に寄与することを目的に取り組んでおります。

私たちのこの「願い」のため
尚一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう
心からお願い申し上げます。

公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団
理事長 土屋 昌三



福祉住宅の建築に関する 助成および情報提供事業

ノーマライゼーション住宅財団の主な事業

ノーマライゼーション理念の 普及啓発事業

ウィズ ライフ
広報誌「WITH LIFE ～共に生きる～」発行

本62号は、「人々が集う心地よい空間づくり」をテーマとする対談、「築20年のゲストハウス」や「バリアの無い快適な住環境を紹介するショールーム」に関するレポート記事、介護・自立サポートアイテムを掲載。建築・福祉に関する寄稿も「ためになる」と好評です。



小中学生による
「安全・快適アイデア」コンテストの実施

年1回公募し、1月に入賞作品を展示公開するとともに、広報誌「WITH LIFE ～共に生きる～」に入賞作品・入賞者を掲載！



入賞作品を
展示公開
(さっぽろ地下街
オーロラタウン)



福祉事情に関する情報の収集と提供

福祉住宅建築助成
実例集「ふれあい」発行

助成金による
福祉住宅建築支援



福祉住宅助成実例

実例集「ふれあい」には、
安全・安心・快適に暮らせるアイデアがいっぱい！



新築：スロープ

リビングの窓下までスロープを設置すると屋外への出入り口に

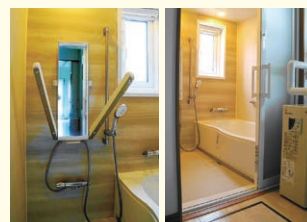
新築：玄関

車いすの乗降を容易にするため上がり框(かまち)の形状を工夫



リフォーム：浴室&UT

浴室とUTの段差をなくし引き戸に。温浴効果が得られるボディハグシャワーを採用



詳しくは、こちらをご覧ください。



美しくて心地よければ、自然と人が集まる。
そういう場、そういうものに親しみ、楽しもう！

建築家であり音楽家でもある畠中秀幸さんは、
2011年に脳内出血を患うも、リハビリをしながら活動を継続。
「音楽のような建築。建築のような音楽」をコンセプトに多彩な活動を展開しています。
北欧で学び、プロダクトデザイナーとして公共建築にも携わる伊藤千織さんが
畠中さんのご自宅「途上の家」を訪ねて、物事の捉え方や取り組みについて語りました。

構成／大藤紀美枝 写真／伊藤留美子



「途上の家」の2階・音楽ホールにて。畠中秀幸さん(右)、
伊藤千織さん(左)

建築家・音楽家
はたけなか
畠中 秀幸さん
ひでゆき

プロダクトデザイナー
いとう
伊藤 千織さん
ちおり

音楽ホールも設けた 自宅は文化基地

——「途上の家」(※1、次ページ)と名づけられた畠中さんのご自宅兼仕事を拝見しつつ、大いに語らっていたとのこととします。こちらの建物は、細長い敷地に学生時代過ごした京都の長屋のイメージを重ね、京都の文化と北海道の風土の融合を図ったそうですね。

畠中 ええ。ここは、公道の延長にある私道で、打ち捨てられた雑種地扱いでした。正面に手稲山が見え、地価がめちゃくちゃ安かったから、僕にうってつけだったんです。

音楽ホールとしても機能させたかったので、壁やドアなどは必要最低限に抑え、シンプルに設けましたが、脳出血を経験して以降、ミニカーやフィギュア、絵画、仏像などを集めて飾るようになりました。

——見事なコレクションですね。

畠中 少年の心を忘れない：そんな感じで集めています。

「おもしろい文化基地」として楽しく使ってくれる若い人たちが出てきたら、僕が死んだあと、あげちゃおうと考えています。手元にお金を残すより、物であったり、人間的な関係を残したいんですよ。

伊藤 わかります、その感覚！でも、レアなフィギュアがたくさんあるから、先行投資になっているかもしれないよ(笑)。

住まいへの愛着が 機能回復を促す

——伊藤さんは、こちらを訪問するのは2回目だそうです。

伊藤 はい。今回は、「WITH LIFE」を意識し、まず、バリアフリーに関して伺いたいのですが。

畠中 どうぞ。

伊藤 バリアフリーの視点から、「段差を無くす」といった

フラット化がメジャーな考え方としてあります。畠中さんの建築はとても美しいけれど、こちらの自邸を始め、いずれも段差だらけの空間です。いわゆる健全な状態で、美意識などを優先して作ってこれたと思います。病気で身体に変調が出て、よく、ここに住んでいるなど、初めて訪問したとき思いました。

病気をなさって以降、バリアというものをどのように捉えていらつしやいますか。

畠中 脳出血で入院して、もう一度、指揮したりフルートを演奏するステージに戻りたいという願望があって、同時にこの家に住める体に戻りたいと思いました。僕がこれほど気に入る敷地は、もう出ないだろうし、この家は圧倒的に美しいと思っていて、ここに住み続けたいというのが、リハビリに励む一つのモチベーションになりました。実際、日々、ここで生活してい



伊藤 千織 (いとう・ちおり)

1966年生まれ。建築設計事務所勤務を経て、デンマークで家具・空間デザインを学ぶ。1999年、伊藤千織デザイン事務所を設立。家具・インテリアプロダクトのデザイン・商品開発を中心に、イラストレーションから空間コーディネートまで手がける。大学の非常勤講師、当財団評議員等を務める。

伊藤千織デザイン事務所
TEL:011-531-1717
E-mail:info@chioriito.com
URL:http://chioriito.com



畠中 秀幸 (はたけなか・ひでゆき)

1969年生まれ。9歳でフルートと出会って以来、音楽活動に情熱を注ぐ。京都大学大学院修士課程修了後、設計事務所に勤務し、札幌ドーム等の設計に携わる。2003年独立し、スタジオ・シンフォニカ有限会社設立。2011年に脳内出血で右半身の機能を失うもリハビリに励み、建築家・左手のフルーティスト・指揮者として活躍中。



Facebook



YouTube



シンフォニカ



一般社団法人
結び



「健常」と「障がい」、「建築」と「音楽」は、
もともと混然一体としたもの。
まさにノーマライゼーションと言えます。（畠中）

るだけでリハビリになっていくんです。

伊藤 なるほど。障がいがあった
でもリハビリや工夫をして、
つまり、愛着がある家に住む
ために自分の体をチューニン
グしていくというのは、ある
意味、新しい考え方ですね。

妻と友人と哲学に 支えられ、現実を受容

——脳出血で倒れたとき、ど
のような状況でしたか。

畠中 僕自身が企画・運営・
指揮する北海道吹奏楽プロ
ジェクトのリハールサル中に倒
れて、救急搬送されました。
42歳のときです。左脳の出血
で言葉の問題と右半身にまひ
が残ると告知され、「えらいこ
とになった」と思いましたが、
その先生に「あなたは自己顕
示欲が強そうな顔をしている

から、片方あれば、なんとか
なるから」と励まされました。

そして、入院して3日後に、
敬愛する現代美術家の端聡さ
んがお見舞いに来てくれ、僕
にこう言ったんです。

「アーティストとして、むしろ
ラッキーだよ。健常者と障が
い者、二つの感覚を手に入れた
んだから。それに、片方の手
があれば十分。図面も引ける
し、フルートがだめなら違う
楽器をやってもいい。大丈夫だ
よ。畠中さんにはミッシェン

ができたんだと思う」って。
伊藤 端さん、すごいこと言
いますね（苦笑）。でも、自分の
身に起きたことを、すぐに受
け入れることができましたか。
畠中 夜眠っているときは、
脳が勘違いして、従来どおり
できていると思っているけれど、
起きているときは右半身の感
覚がまるでない…。そのリア

リティーに押しつぶされる前
に、端さんがポジティブな言
葉で励ましてくれたことが大
きかったです。

妻は、僕がふにやつとなっ
ているときは「頑張れ」と励
まし、慢心しているときは鼻
をへし折るといった具合に、
逆張りして僕を支えてくれて
いるし、京大で建築を学ぶ中
で出会った西田幾多郎（※2）
の哲学にも支えられています。
伊藤 すごいですね。京大の
教育！

畠中 西田哲学の視点で僕の
状態を考えると、「左半身は健
常」「右半身は障がい」と分け
たとしても、掘り下げていく
と一体の生命にたどり着く。
すなわち、健常、障がいと分
ける意味がない。こうした「絶
対的な無」までの経験を掘り
下げると、「経験の深さ」が出
てくる。これを西田は、「純粹

経験」と呼びました。

西田の「絶対矛盾的自己同
一」の概念は、矛盾を引き受
けて肯定するものですが、そ
れも障がいを得ることでリア
リティーをもって僕の中に
スッとしてきたんです。

伊藤 入院中、早々にリハビ
リに励んだそうですね。

畠中 リハビリの初速度が機
能回復を左右すると知り、医
学書を読み込み、主治医に「人
の3倍リハビリをさせてくだ
さい」とお願いして、入院2
週間で、歩行器を使って歩く
までになりました。

伊藤 何事にも興味津々で、
過剰なくらいのめり込む畠中
さんだから、そこまでできた
のかもしれないね。

畠中 僕の中に、健常なA君
と障がいのあるB君がいて、
「右足から歩き出すと転んでし
まうから、左足から出そうぜ」



2011年、脳出血で倒れた運命の日始まり、フルート、建築、建築と音楽の関係性、左手のフルーティストとしての活動などをテーマに、幼少期から今日に至る歩みと展望を型破りなエピソードを交えて記している。2024年、音楽之友社刊。同時に初ソロCD「音の建築」をリリース。

※1 途上の家…札幌市西区に
2003年竣工。細長い敷地に立
つ2階建ての建物。仕事と生活
の一体化を目指し、音楽ホール
の機能も備えている。

※2 西田幾多郎（1870-1945）…西洋哲学の方法論を用い
て東洋的精神性と西洋哲学の
融合を図った「京都学派」の創
始者。「純粹経験」を出発点と
し「場所の倫理」「絶対矛盾的
自己同一」などの概念を發展さ
せ、日本の哲学界に大きな影響
を与えた。



みんなが楽しめる場所・アクティビティに
役立つチャージングなものをデザインして
提供するのが役目と心得ています。(伊藤)

音楽のような建築 建築のような音楽とは

とディレクションするC君もいる。つまり、僕の中で常に対話があり、これはもう「一人ノーマライゼーション」なんです。

伊藤 いい言葉。キャッチコピーになります！

—— 畠中さんの著書「左手のフルーティスト」を読んで、伊藤さんの感想は——。

伊藤 「あとがき」が、特におもしろかったです。畠中さんが一番伝えたかったことが、ここに書かれているんじゃないですか。

畠中 そのとおりです。「健全」と「障がい」、「建築」と「音楽」は、もともと混然一体としたもので、僕は異なる視座の「さかいめ」に生きること

を目指そうと考えていて、それを「あとがき」に書きました。

伊藤 ヨーロッパの知識人って、哲学にも芸術にも科学にも精通している。それらは縦割りじゃなくて、全部つながっていて、その人の職能で社会貢献したり、得意なメディアで表現したりしていますよね。

畠中さんのやろうとしていることは、それと似ていて、もやもやとしたクラウドミたいなものがあるって、そこから必要なものを引き出して何かを作り出すことをイメージしたんですが、こういう解釈でいいですか。

畠中 さすがです。「音色」という言葉があるように、聴覚と視覚はもともと一体のもの。建築は視覚芸術、音楽は聴覚芸術と分けて捉えられていますが、勝手に分けているだけ

で、もともとは一体で、伊藤さんの言う「クラウド」なんですよ。

僕が「音楽のような建築を作ります」「建築のような音楽を作ります」と言ってきたのは、「建築とは何か」と問うと、建築で論拠され、「これは建築としておかしい」となることが、よくあるじゃないですか。

伊藤 だから、わざとブラすということですね。

畠中 そう。ズレを認識して、「音楽のような建築」という言い方することで、建築の論拠に縛られずに広い世界へ溶けていくと理解していただければうれしいです。

もの・こと・場の手法 場・こと・ものの手法

—— 伊藤さんも多彩な分野で才能を発揮されていますが、

建築関連の取り組みについてお話しいただけますか。

伊藤 正直言って、特定のお金持ちのための特注家具とかには心が動かないんですよ。みんなのために、よりよい最大公約数的に捉えて、多くの人が楽しめる場所なり、アクティビティ（活動、行動）を考えるのが性に合っている

んです。

そういう意味で、公共的な仕事とか空間に関心があって、そこで、どういう活動をして、どういう盛り上がり方をして、といったようなソフトの部分と連携して考えるのが好きです。それをいざなうチャージングな「もの」を提供するのが私の役目かなと…。



「途上の家」の2階。ひと際眺めのよいコーナーに腰を下ろし、熱く語らうお二人

畠中 すばらしい！

伊藤 「もの」と「こと」と「場」のジャンルでデザインを行ってききましたが、もの・こと・場各々ではなく、トータルでいい感じにすることを目指しています。

畠中さんは、「途上の家」を始め、人が集まる「場」を作るのがホント上手ですね。

畠中 僕は、「場」の方から考えて、「こと」があって、「もの」

があるという手法ですね。「そこで何をしていいのかわからない」と言われたら、楽器を演奏してソフトとして提供することをやっていますが、それがすなわち、音楽のような建築だし、建築のような音楽なんです。

伊藤 私は、出自がもの派なので、「もの」から発想するんですよ。例えばこのテーブルも、この高さ・大きさじゃな

かったら、車座になってワイワイってならないですよ。幅60（cm）ぐらいのテーブルだったら、二人でヒソヒソ話す感じになるかも。そういったように「もの」から「こと」が生まれ、さらに「場」へとつながっていきます。

——伊藤さんが携わった公共施設の事例を挙げていただけますか。

伊藤 沼田町の小学校は、新



伊藤さんの作品（各インテリア）。

1. 東川町複合交流施設せんとびゅあⅡ・図書スペース内の色弱の人の見え方にも配慮したベンチ（設計：アトリエブंक、写真：酒井広司）。
2. 沼田町立沼田小学校の児童が集まる共用部に配した、原っぱをイメージした大きなベンチ（設計：アトリエブंक、写真：佐藤文昭）。

築の際、児童の活動を重視したさまざまな居場所が設けられました。その一つ、「ひかりの原っぱ」には、大階段が設けられました。「ここではコンサートができる」と思ったので、置き式のクッションを提案をしました。また、子どもたちにおしゃべりを楽しんでもらいたいので、原っぱをイメージした大きなベンチを設けました。

こんな具合に設計意図をくみつつ、「場」に「もの」でなごむ仕掛けをするのが私の役割だと捉えています。

畠中 美しくて心地よければ、そこに自然と人が集まります。伊藤さんと僕が組んだら、おもしろい「場」・「もの」が生まれると思います。

リボンの優しさで いろいろな分野を結ぶ

——畠中さんは、一般社団法人結びの代表理事でもありませんね。

畠中 2022年に設立した「結び」は、いろいろな分野の一流の専門家が連携し、特別チームを作って一つの分野で

は生まれ得ない「新しい出来事」を作るお手伝いをしています。

伊藤 いろいろな分野とは。

畠中 アート、メディア、教育、建築・デザイン、福祉、音楽、医療（心と体の調和を目指す統合医療）、葬儀とあって、医療に助産医が加わってもらったことも考えています。そこでの僕の役割は、それぞれを緩やかに結びリボンです。

伊藤 建築家であり、指揮者であり、ディレクターである畠中さんならではのですね。こつこつとこつちを結んだら、こういうのが生まれたというところが、一番楽しいんでしょうね。

——デザイナー・伊藤としては、突拍子もない組み合わせで新しい発想をするようなことがおもしろいので、すごくよくわかります。畠中さんが長沼町で進めている新プロジェクトにも期待しています。

畠中 ありがとうございます。9月6日のオープニング・コンサートに、ぜひ、いらしてください。

（2025年8月19日、畠中邸「途上の家」にて）

Agriculture (農業) × Art (アート) × A-so-bi (遊び) = A³ アートビレッジ「A-cubic」が長沼町に誕生！

＝畠中秀幸さんプロデュース＝



1. ホール入り口階段から全景を望む。ステージ向こうの別棟内でもピアノが奏でられる
2. 玄関を入り土間、式台、そして緩やかな階段を上ってホールに入っていく趣向
3. 仮設の床上に組み上げた客席。ベンチ席は野菜の陳列台にも。いすの配置は自在。棚にもなる

2025年9月6日、長沼町の大きなかぶ農園（東11線南6）の一角に、畠中秀幸さんがプロデュースするアートビレッジ「A-cubic＝エー・キュービック」がオープンしました。丘陵を背景として眼下にはのどかな田園風景が広がり、特に夕景は絵のような美しさです。

「心を豊かにするものとして、農業（食）とアートには親和性があると思うんです。そこで、農園内のD型倉庫を無期限で貸してもらって、農作物の即売所および音楽のための空間としてリノベーションしました」と畠中さん。農機具を収容していた倉庫が、畠中さんの設計により、半年間で木の温もりに包まれた心安らぐ空間に大変身。

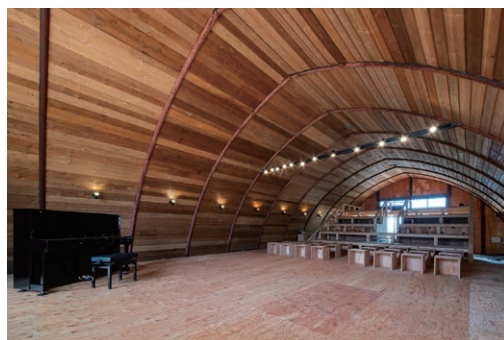
「構造用合板や下地材を仕上げ材として使っています。節があるものは価値が低いとされていますが、僕は全然気にしません。床も棚も全て仮設なので移動することができ、仮設だからこそ、能舞台のような美しい音響が得られます」と畠中さんは足を踏み鳴らして、自慢の音響を披露します。

9月6日のオープニング・コンサートでは、畠中さんを始めとするアーティストたちが演奏や歌、舞を披露。入り口土間には、地元産の野菜が並び（対面販売）、訪れた人々は、音楽と農業の魅力を一緒に体験する楽しさを満喫しました。

「土を耕し食で心を耕す」「音楽などの芸術で心を耕す」という考えに賛同する農家やアーティストによるイベントが多種企画されており、畠中さんもSNSなどでホット情報を発信しています。



「A-cubic」外観。あえて残した壁材のサビが歳月を物語り、白樺がシンボルツリーに



ステージから見た客席。能舞台の仕組みに習った床は、板張りの壁面と共に、すばらしい音響を生む

取材・文／大藤紀美枝 写真／野口和孝

林に囲まれた築20年のゲストハウスのコンセプトは？

白樺林の中にたたずむ「詩と藝術の館ポエティカ」（長沼町幌内）は、高塚直裕（たかつかなおひろ）啓美夫妻がゲストハウスとして2005年に建設。コンサートや個展なども催され、知る人ぞ知るアートのスポットとなっています。設計を任された畠中秀幸（はななかひでゆき）さんも加わって、建築コンセプトと20年の歩みを語っていただきました。

取材・文／大藤紀美枝 写真／野口和孝



木材の魅力を存分に生かした2階ホールは、30畳ある大空間。3方に設けた大きな窓から四季折々の自然美が堪能できる

「縁」がカタチに

長沼町にあるポロナイクリニク（心療内科）の院長・高塚直裕さんと妻の啓美さんが、敷地内に「ゲストハウスを」と考えたのは、二十数年前のこと。

かねてより自宅で音楽会やパーティーを開いており、ここに数十人も集うようになってきたことと、作曲家やお琴の師範のお子さんたちの音楽拠点として機能する空間が必要になったことから、新たな建物を計画したそうです。

その際、建築家・畠中秀幸さんといっしょに建てたのは、近隣で山田フルート・ピッコロ工房を営む山田和幸（やまだまさと）さん。フルートの調整依頼などで工房を訪れていた畠中さんに、高塚夫妻のゲストハウス計画を伝え、間を取り持ってくれ

たのです。

「お話をいただいて、すぐに高塚先生のお宅に伺いました。当時の僕は、独立第1作として自宅（途上の家）を建てたばかりで全く無名でしたが、お二人は僕のフルート演奏と建築コンセプトを聞いてくださって、その場で『あなたに』とゲストハウスの設計を任せてくださったんです」と畠中さんは、当時の感動そのままに熱く語ります。

オーナーと建築家の感性、哲学が合致

会ったばかりの畠中さんに設計を依頼した理由を高塚さんに尋ねると、「フルートの音の出し方で、畠中さんがイメージしているものが伝わりました」とのこと。

建築に対する高塚さんの要望は、「音楽と建築が一体と



「ポエティカ」について語る高塚さん（右）と畠中さん（左）

なったもの」「楽器の中に入っような空間」とのことと、畠中さんの建築コンセプトと驚くほど合致するもの。啓美さんの「ここは絶対、木造で」との思いも、高塚さん、畠中さんの志向と共通するものでした。

そして、「自然素材を用い、



1. 白樺林の中、すがすがしい緑の小径（こみち）を歩むと、20年の時を経て自然と一体化した「ポエティカ」が姿を現す
2. 沢に架かる橋を渡り、枕木の階段を上って内部へ（新築時に畠中秀幸さん撮影）
3. 池の中ほどまで伸びる屋外ステージからの眺め。建物の自然な風合いが詩情を醸し出す
4. 1階に設けた寝室兼控室。窓辺に設けたカウンターは、書き物をするにもうってつけ

自然を尊重した 楽器のような空間

「ポエティカ」の立地を見ると、そこは西下がりの丘陵地。法尻（斜面の下部の端）にある池と沢を生かし、「水の流れ」と「豊かな緑」を残しながら、橋の上に住む雰囲気演出する設計となっています。

「敷地の高い方に平屋、低い方に2階建てボックスを配置

化学物質、石油製品、化石燃料は極力使わない」「時計も電話もテレビも置かず、時間の豊かさを感じる精神的交流ができる場とする」といった高塚夫妻の意向を踏まえ、畠中さんは設計に着手。「あなたの一番やりたいことをやってください」と一任されたものの、迷いが生じたときは、高塚さんに意見を求めたそう。

「塗料を使わなければ、外壁は風化してボロボロになりま

すよ」と言うと、先生は『それでいいんです』とおっしゃいました」とのエピソードも「ポエティカ」ならではの。

ちなみに、「ポエティカ」は、ここで詩的な風景や物語が生まれることを願い、高塚さんが命名したそうです。

この日、畠中さんが、ホールで山田さんの手づくりの木管フルートを演奏してくださいました。



音響を誇るホールで、左手だけで操作できる木管フルートを演奏する畠中さん

「ポエティカ」の内部は、高塚夫妻に縁のある音楽家たちがコンサートを開催しており、「音響がよく、建物自体が楽器のよう」と好評を博しています。

この日、畠中さんが、ホールで山田さんの手づくりの木管フルートを演奏してくださいました。

「ポエティカ」の内部は、高塚夫妻に縁のある音楽家たちがコンサートを開催しており、「音響がよく、建物自体が楽器のよう」と好評を博しています。

この日、畠中さんが、ホールで山田さんの手づくりの木管フルートを演奏してくださいました。

「ポエティカ」の内部は、高塚夫妻に縁のある音楽家たちがコンサートを開催しており、「音響がよく、建物自体が楽器のよう」と好評を博しています。

この日、畠中さんが、ホールで山田さんの手づくりの木管フルートを演奏してくださいました。

「ポエティカ」の内部は、高塚夫妻に縁のある音楽家たちがコンサートを開催しており、「音響がよく、建物自体が楽器のよう」と好評を博しています。

この日、畠中さんが、ホールで山田さんの手づくりの木管フルートを演奏してくださいました。

「ポエティカ」の内部は、高塚夫妻に縁のある音楽家たちがコンサートを開催しており、「音響がよく、建物自体が楽器のよう」と好評を博しています。

気密性能とは—— 高気密の意味を知る

はじめに

1970年代半ばのオイルショックを契機に、北海道では断熱と並んで住宅の気密化

が大きな議論になりました。高気密化の是非を巡って建築学会を中心に活発に議論され、北海道内での議論が収束した1989年、北方型住宅に日本で初めての気密基準が作られました。

気密化への道のりと、その必要性について解説します。

気密化への道のり

日本の気密性能の測定法は、1975年頃、当時、北海道大学の大学院生だった故佐々木隆博士（岩手県立大学名誉教授）がその原型を作り出した。佐々木博士は、建物全体の隙間の面積を、単純な開口



写真1 気密性能の測定

の空気流動の理論式に当てはめて解析することで、気密性能を建物に空いている穴の大きさで表そうとしたのです。これは、建物に一定の圧力をかけた際に、どれだけのが漏れ量から建物の隙間の相当面積を算出するという画期的な方法でした。測定の様子を写真1に示します。

隙間の面積（ cm^2 ）を延べ床面積（ m^2 ）で割り、これをC値（相当隙間面積 cm^3/m^2 ）として気密性能を表すことにしました。この方法によって、住宅の気密性能を数値で客観的に評価することが可能となりました。

北海道では、様々な実験住宅やモデル住宅の検証を重ねた結果、気密化の重要性の理解が進みました。北海道の住宅について、時代ごとのおおよその気密性能を図1に示します。

1990年頃まではC値が $10\text{ cm}^3/\text{m}^2$ を超えて、30坪ほどの住宅に換算して新聞紙大ほどもありました。北方型住宅において日本で初めて気密性能基準が設けられ、現在では北海道の高気密住宅のC値は $1.0\text{ cm}^3/\text{m}^2$ 以下、建物全体で名刺大ほどにまで気密化が進んでいます。

気密化の技術

日本の在来木造住宅は、空気を通すことで耐久性を保ってきたので、気密化はなかなか大変でした。図2に在来木造の課題を示します。

内部結露の防止を目的に防

湿層を断熱層の室内側に張り巡らすようになりましたが、柱や梁が貫通する部分では、気密化は容易ではありませんでした。また、在来木造では、室内外の気密化に加えて、壁や間仕切り切り壁の通気を止めることが、障害の防止や省エ



福島 明



北海道科学大学 名誉教授
公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団 評議員
1978年、北海道立寒地建築研究所入所。以後一貫して寒地建築の断熱・気密や換気・暖房、省エネルギー技術の研究に従事。（一社）北海道建築技術協会会長・寒地建築研究所長。博士（工学）。

エネルギーに大変重要でした。

写真2は、鎌田紀彦博士（室

蘭工業大学名誉教授）が提案

した先張りシート工法です。

こうした工法開発により、北

海道住宅は気密化が進みま

したが、温暖地では気密化へ

の取り組みがなかなか進ま

ず、今日でも気密性能の不十

分な住宅が数多く建てられて
います。

気密化の大切さ

気密化は開放系住居から閉鎖系住居へ転換する基本的な技術のため、「寒冷地の住宅では重要でも温暖地では違う」

という考えが根強く残って
いました。

夏の暑さが苛烈さを増し、空調が住宅の必須設備になる中で、日本全国で閉鎖系への転換が急速に進みつつあります。高気密化は地域を問わず、住環境の快適性、省エネルギー性、そして良好な換気による居住者の健康維持のために不可欠という常識が広まっています。

EUは、住宅の気密化を環

図2 在来木造の課題

在来木造工法の特徴

- 多雨な気候：屋根先行型の工程
- 多湿な気候：壁内通風の確保
- 空間多様性：床、天井仕上面の融通性

防湿層の断点

技術上の課題

- 断熱性能の低下
- 漏気による熱ロス、内部結露

設計性能と実際性能の乖離

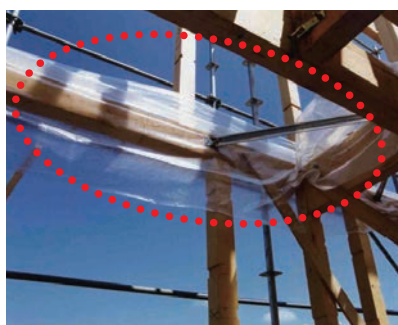
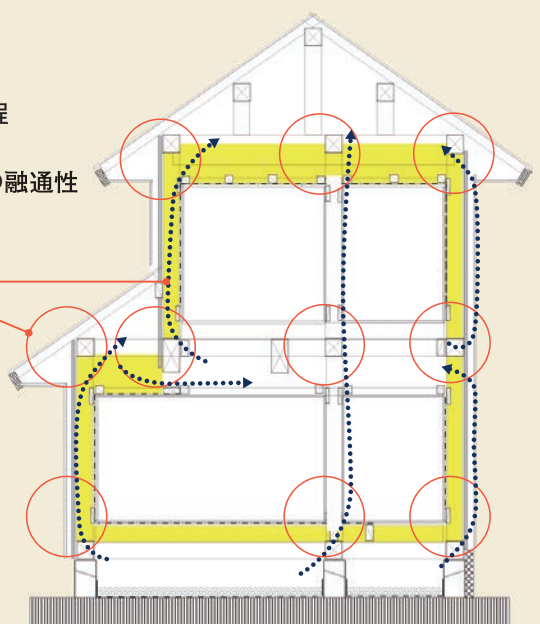


写真2 先張り防湿シート



図3 イギリスの住宅の気密性能

- 25万戸の測定から分析
全体の約20%が表示外
- 赤色は基準値で建物の種別で
幾つか用意されている
- 表示法が異なるので、一定条件で
C値に換算している



気密化住宅の換気

環境対策や健康対策の重要性と位置づけ、新築改修を問わず全ての工事完了住宅の気密性能測定を義務づけることを進めています。

イギリスは取り組みが進んでいる国の一つですが、図3は、その気密測定結果です。横軸が気密性能、縦軸が気密性能ごとの戸数です。赤い表示が基準値で、新築向け基準はC値1.0程度で、最終的な目標をC値0.5程度としています。

北海道では、ほとんどの新築住宅が高気密住宅になり、出口と入り口を明確にでき、すから、良好な換気が比較的容易に実現できると考えられてきました。しかし、ことはそう単純ではありませんでした。次回、住宅の換気の種類と、住宅換気特有の課題について考えてみたいと思います。

介護・自立 サポートアイテム

8

これ
いいね!

「スロープビルド」

長さを変えられ、レイアウトも自在
高耐久で腐食に強い素材を使用した



写真は2本タイプ。15cm間隔のレール板は六角レンチ1本で簡単にジョイントできます。スロープ長244cmで使用した場合、1本タイプで450kg、2本タイプで900kgの耐荷重があります。

山型での設置もできるので、古い仏閣などの段差解消にも活用できるほか、船舶への乗降・荷物の搬入搬出でも使用できます。



段差解消の手段としてスロープの設置がありますが、特に表玄関に設置する際にはスペースが必要なので、頭を悩ませている方も多いかもしれません。「スロープビルド」なら、諸々の悩みを解決できるかもしれません。



レポート：
西村裕広

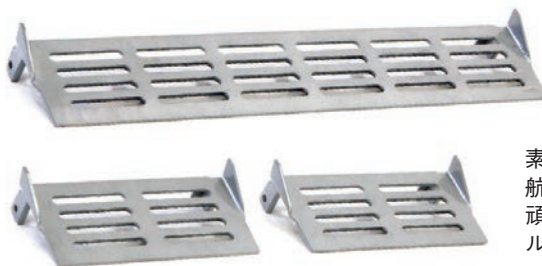
「後付け」でも自在に 設置できるスロープ

建物の表玄関部などにスロープを配置する際、もし後で必要が生じた場合に設置しようとしても、上手くいわずに苦労してしまうケースが多々あります。単に段差を解消するだけであれば段差に板を渡すなどして簡単にスロープを設置することはできますが、傾斜を緩やかにする必要があり、車いすで使用するスロープなどは簡単に設置することができません。

今回紹介するアメリカ、ロール・ア・ランプ製の「スロープビルド」は長さを変えられる、設置できる巻き取り式のアルミ製スロープです。1本タイプ、2本タイプがあり、



ロール式なので丸めて収納することも可能です。



素材は宇宙空間や航空機で使用する頑強で高耐久のアルミニウムを使用。



加重によるたわみを防ぐスタンド、手すりなど、安全のためのオプションも充実。

写真提供・取材協力

アビリティーズ・ケアネット(株) 札幌営業所

広々としたショールームと共に営業するアビリティーズ・ケアネットの札幌営業所は、多様な福祉機器を身近に手に取って、試乗して使い良さを確かめられる。



札幌市南区藤野2条4丁目1番2号
東光ストア 藤野店2F
TEL:011-596-9202
<https://www.abilities.jp>



介護用レンタルもあり、取材に協力いただいたアビリティーズ・ケアネットでは下記の価格でレンタルしています。

全長 (cm)	重量 (スロープ本体・kg)	月額 レンタル料	利用者負担額 (1割負担の場合)
約104～150	1本タイプ約11.8 2本タイプ約7.3	¥4,100	¥410
約165～211	1本タイプ約16.3 2本タイプ約10.0	¥5,100	¥510
約226～272	1本タイプ約20.9 2本タイプ約12.7	¥6,100	¥610

手すりや運搬用のキャスター、しなりを防いで、より強度を上げるサポースタンドなどのオプションも充実。錆び、腐食に強い素材の航空宇宙用アルミニウムを使用しているの、簡易としてではなく長く使用もできる優れたスロープです。

巻き取り式なので「耐久性が心配」という方もいると思いますが、航空宇宙用アルミニウムで作られているスロープビルドは既成の1枚板の簡易スロープと比較しても上位に入る高耐久性。1本タイプはスロープ長244cm以下で約450kg、2本タイプはスロープ長244cm以下、かつ2本同時の使用で約900kgという耐荷重なので、手動式の車いすはもちろん重量のある電動式車いすでも安心して使用できる強度です。

1本タイプは15×78.4cm、2本タイプは15×33.0cm幅のレール板をジョイントして使用するスロープなので、必要に応じて長さを変えることが可能。設置の制約を大きく解消できるのはもちろん、コンパクトに丸めて収納・保管することもできます。

生きがい空間 探訪

●札幌市
土屋ホームトピア
「暮らしの元気スタジオ」

バリアの無い快適な住環境を紹介。 相談し検討し、よりよい選択を！

取材・文／大藤紀美枝 写真／野口和孝

ショールームに設けた 具体的なモデル空間

元気を感ずてもらえる環境を提案するバリアフリーショールームをと、大々的にリノベーションした土屋ホームトピア「暮らしの元気スタジオ」が、2025年11月（予定）にフルオープンします。

同社ノーマライゼーション課の池田広行課長は、「暮らしの元気スタジオ」のコンセプトを次のように語ります。



株式会社土屋ホームトピア
ノーマライゼーション課

課長 池田 広行さん

「最新の福祉機器を展示するところはあっても、お家にとのよう収まるのか、またどのように使われるのかをイメージできるところは、全国的に見てもまずありません。そこで、ショールーム内に、高齢になっても障がいがあっても長く住み続けられる造りの福祉機器を備えたモデルハウスを設けました」

その言葉のとおり、「暮らしの元気スタジオ」には、厳選した国内外の福祉機器の体験コーナーにとどまらず、平屋住宅を模したバリアフリーモデルハウスを設けています。

わが家全体を捉え バリアを無くしていく

北国の冬の暮らしを支える設備の一つに「風除室」があります。

「暮らしの元気スタジオ」では、ショールーム内に風除室



風除室に電動昇降機を設置。①未使用時はテーブル（昇降台）を折り畳んでコンパクトに。②外出時、リモコン操作でテーブルを上げ下げ。③帰宅時もリモコン操作で段差を解消。玄関引き戸（奥）は、リモコンやスマホで施錠解錠ができる機能付き。※テーブルが折り畳めないタイプはレンタル可能

と玄関を設け、段差を解消する電動昇降機を設置。介助を必要とする場合も、車いすユーザー自身が操作するときも安全・スムーズに玄関の出入りできるモデルを紹介しています。

でコンパクトな電動昇降機があるのに、なかなか普及しません。介護保険の給付を利用したレンタルが可能な商品もあります。住環境を整えるに当たって、給付金の適用範囲を超えてしまうことがあります。

使う人にモノを合わせ
安全・安心・快適に

段差解消に努めた玄関を入っていくと、バリアフリーの快適空間が広がっています。天井走行リフトを備えた寝室、その向かいには車いす対応型のトイレがあり、ゆったりとしたリビング・ダイニング・キッチンがあり、ユーティリティ、浴室と連動しています。

「ご年配の女性で『台所仕事』に生きがいを感じている方は少なくありません。サイズが

すが、お家全体のバリアを無くすことで快適な空間になり、ご本人・介助者の安心につながります」と語ります。

そして、「自力で移動し、自分のペースで用を足し、自分で暮らしてこそ、生きがいを感じられるのではないでしょう」と問い掛けます。



「暮らしの元気スタジオ」の
プレオープン時の様子



1. 浴槽、移譲台、手すり、カウンター、シャワー、いずれも可動式なので、身体状況や介護状態に合わせて調整できる。清掃しやすい材質で造りにも工夫
2. 電動昇降棚・照明・レンジフードをリモコンで操作できる車いす対応型キッチン。車いすを使わない人も、自分に合ったいすに座ってラクに調理できる。手をかざすだけで吐止水ができるタッチレス水栓も便利
3. 大規模な工事不要の天井走行リフト。身体を吊り上げてもバランスを取り水平に保つ機能を備えているので、安全・安心
4. 内側・外側、双方に折れるドアなので、常にハンドルを押して出入りできる。ひじ掛け手すりは、上下方向に動くはね上げ式

自分に合っていて、便利な家電や機器が備わっていて、お掃除がしやすい…。そんなキッチンであれば、生き生きと台所仕事が続けられると思います。ご家族やヘルパーさんと一緒に調理をするワクワク感を大事にしたいものです」と池田課長。

浴室は、福祉施設で導入されている安全・安心・衛生的なシステムバスが自宅にも設置できることを紹介。使う人に合わせて、手すりや浴槽も動かすことができるスグレモノです。

「キッチンも浴室も、使う人にモノを合わせる造りです。ご高齢の方、障がいのある方、そのご家族、介護職の方、福祉や医療に携わる方、学生さん、いろいろな方が当ショールームにお越しになり、さまざまなご相談・ご質問を承っております。その中で私どもが学ぶことも多く、よりよいショールームづくりに生かしています」と池田課長。

本格バリアフリーショールーム 「暮らしの元気スタジオ」がオープン!

土屋ホームトピア本社ビル1階ショールームをリノベーションした「暮らしの元気スタジオ」が、プレオープンを経て、2025年11月フルオープン（予定）。生涯自宅で安全・安心に暮らせるイメージが体感できるバリアフリーモデルハウスを始め、福祉用具を多種展示。相談コーナーを設け、福祉住環境コーディネーター、福祉用具専門相談員、介護福祉士、介護支援専門員、ファイナンシャル・プランニング技能士などの資格を持つスタッフが、相談に乗り、元気な暮らしを支える提案をしています。



ショールームスタッフ。左から北島昌美さん、池田広行課長、佐野裕一さん

札幌市厚別区厚別南1丁目18-1
株式会社土屋ホームトピア本社ビル1F
TEL: 011-896-3310
受付時間/9時~18時(土・日・祝日を除く)
予約制 入館料/無料
URL: <https://www.hometopia.jp/branch/normalization/>



リビングは家の中心になる空間。 動線を考慮して配置を考える

そこに家族が集い
くつろぎ、語らう

玄関から入って、一番先にあるのがリビングというお宅がほとんどか
と思います。

リビングは家族の団らん、食事、
来客の接待など、家の中心になる空間です。家族構成や年齢などを考慮し
リビングのスペースを考えますが、近年は洋式の生活が主流になり、家具類が増えたため10畳以上が普通
になっています。

対面キッチンを開くのでの団らんとイメージすると、リビングとキッチンが一体となった、より広い空間になってきます。

リビングの役割として。

▼家族や友人がいつも集まる。

▼家族でお気に入りのテレビ番組を見る。

▼子どもが学校から帰って、その日のことを話し、宿題もそこで片付ける。

▼夜、照明を落とし静かな時間を過ごす。

つまり、ここは家族が共有する大切な場所ということです。自分の部屋に行くための移動通路になっていたり、物が多くて家族が集まるスペースが確保でき

ないようでは、リビングの役目を果たしていません。家族にとって愛着のある住まいであるための大切な部屋と考えて計画しましょう。

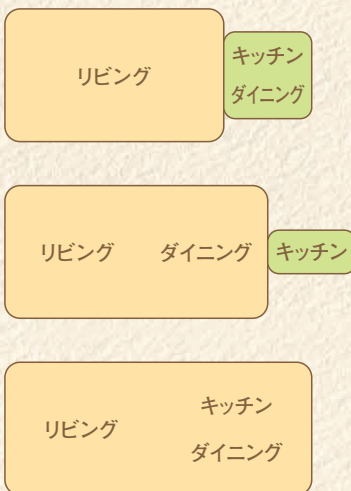
リビングと各所のつながりをイメージ

「動線」を考えながら、リビングとのつながりをイメージして、キッチン、ダイニング、洗面所、浴室などの間取りを考えましょう。

子育て世代では、子どもが中心となり、どこにいてもお互いの気配が感じられる距離感が大事になります。子どもが帰宅して、リビングにいつも誰かがいると安心します。高齢期の場合も同様です。自室に閉じこもらず、日中はリビングで過ごせるよう、座り心地のいい椅子を用意すると寝たきり防止にもなります。

また、寝室を水回りに近い位置に設けると、リビングとの距離も自然と近くなります。

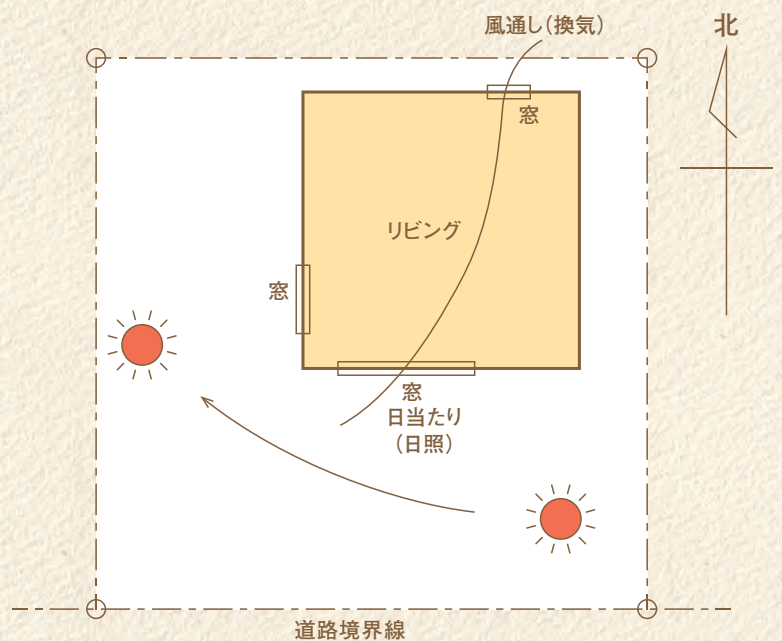
●リビングと各所のつながり



方位や面積を踏まえ 位置や大きさを考える

敷地の方位、面積により、リビングの位置、窓の位置、大きさを考えます。リビングの窓から見える景色、日差しもインテリアに影響してきます。

周辺に家が密集している場合、プライバシーを守ることを優先するなら、光を取り込むための工夫が必要です。外観は閉じた家になりますが、窓の位置や大きさを工夫することで、室内にやわらかな光が差し込みます。



●快適なリビングにするポイント

- 窓を大きくすると太陽光・太陽熱が入る。
- 窓の位置は構造のバランスも考える。
- 窓は熱が逃げるので、断熱・気密も考える。
- 対面する窓の位置で風通しがよくなる。



一級建築士事務所
自然 (じねん)

主宰
東 道尾

1996年、一級建築士事務所 自然(じねん)設立。介護福祉士、介護支援専門員等の資格を持ち、北海道建築指導センターの住宅相談員、札幌市福祉のまちづくり推進会議委員、当財団理事を務める。

公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団は、 社会福祉の増進に寄与する事業を展開しています。

助成金による福祉住宅建築支援

高齢になっても、障がいがあっても、安心して暮らせる安全で快適な住宅づくりを支援する目的で、バリアフリーを基本に福祉住宅・福祉小規模集合住宅を新築、あるいはリフォームした建築を公募（年1回）し、建築主に助成金を給付しています。

募集要項

【募集期間】 5月1日～11月30日

【応募方法】 当財団ホームページから所定の申請書をダウンロードして記入・提出

【助成金】 総額300万円



※詳しくは、こちらをご覧ください。▶▶▶

福祉住宅助成事例集「ふれあい」発行

左項の助成対象建築の中から、特に参考になる事例を選考。写真や図面付きの実例集「ふれあい」で紹介しています。

通巻36号。2025年版「ふれあい」をはじめ、バックナンバーを無料提供しています。



ウィズ ライフ 広報誌「WITH LIFE ～共に生きる～」発行

当財団の広報誌。ノーマライゼーションの実践例、関連情報、福祉住宅の実例、小中学生による「安全・快適アイデア」コンテストの入賞者掲載（年1回）など、役立つ情報を紹介しています。

本号通巻62号。バックナンバーを無料提供しています。



小中学生による 「安全・快適アイデア」コンテストを実施

お年寄りや障がいのある人が安心して快適に生活するための身近な道具・用具、安全に外出ができる環境づくりなど、公募（年1回）により、さまざまなアイデアを小中学生から絵と文字で提案してもらっています。

募集要項

【募集期間】 6月1日～10月31日

【応募規格】 画用紙（八つ切り）

【応募方法】 当財団ホームページから所定の応募票をダウンロードして記入し、作品の裏面に添付



※詳しくは、こちらをご覧ください。▶▶▶

「賛助会員」を 募っています！

当財団は、「ノーマライゼーション」を世に広め、誰もが共に暮らし、共に生きる住環境づくりを推進しようと、土屋公三前理事長（土屋グループ創業者）が1989年に設立。公益に徹するため、2012年から公益財団法人として活動しています。

当財団の活動理念・趣旨にご賛同いただき、「賛助会員」としてご支援・ご協力いただければ幸いです。

会員種別	年額/1口
法人会員	120,000円
個人会員	12,000円



※申込書等は、こちらをご覧ください。

※賛助会費のお支払いは、一括払いまたは毎月払いのどちらかをお選びいただけます。

2025年11月1日発行 発行人／土屋昌三 発行所／公益財団法人ノーマライゼーション住宅財団©

〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目2-3 ルーブル16 9F TEL:011-613-7551 FAX:011-612-8431 URL: <https://normalize.or.jp/>

【編集スタッフ】編集協力／株式会社創文 レイアウト／高部友恵 表紙イラスト／佐藤正人 【印刷】株式会社須田製版

こ ち よ
心地好いの、その先を

お届けするのは、感動を超える、心地好さ。
それはただの快適さではなく、
毎日を、人生を、特別に変えるもの。
心地好さのその先に、豊かな暮らしが待っています。

CARDINAL
HOUSE



カーディナルハウス 名取ジラスモデルハウス

アーキテクトが導く、
オーダーメイドデザインの注文住宅。
プロフェッショナルチームが、
唯一無二の住まいを実現します。

LIZNAS



リズナス 札幌豊平モデルハウス AND LABO.

家も、楽しみも我慢しない。
「価値ある家を、お手頃に。」
好きを選ぶだけのリーズナブルで
高品質な注文住宅。

LAPEACE



ラピス菊水

北海道初[※]の木造4階建てマンション
「LAPEACE (ラピス)」。
オーナー様、入居者様が共に
SDGs 達成に貢献する環境共生住宅です。

※当社調べ



土屋ホーム
www.tsuchiyahome.jp

検索

